

タテ科 イヌタテ属

ハルタテ (春蓼)

Persicaria maculosa Gray subsp. *hirticaulis* (Danser) S.Ekman et T.Knutsson

自生環境

畑地、荒れ地、牧草地 など

原産地

日本在来

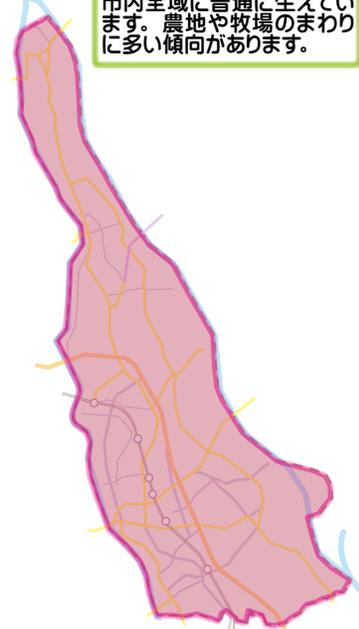
生育を脅かす要因



市内全域に生え、数も多いため、今のところ絶滅の心配はありません。ただ、生えている場所柄、除草剤散布など人間活動の影響を受けやすいと考えられます。

市内の分布状況

市内全域に普通に生えています。農地や牧場のまわりに多い傾向があります。

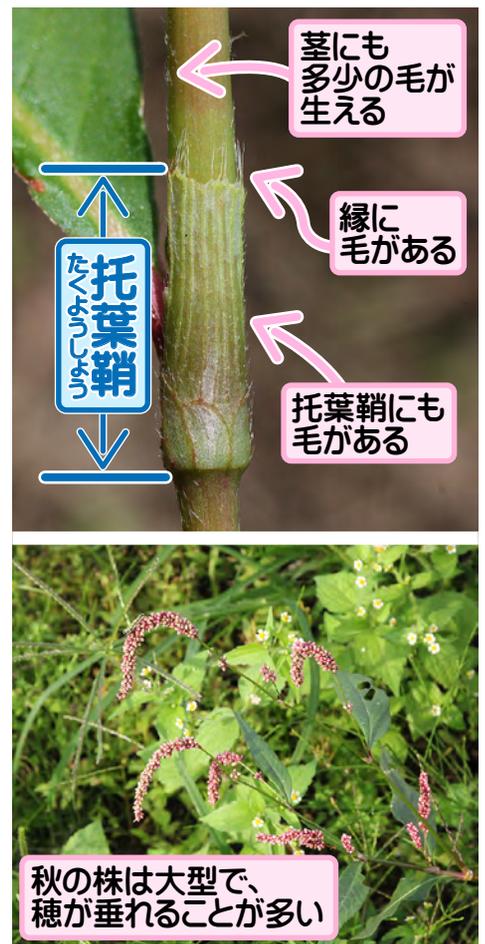


特徴

- ☆ 日当たりのよい場所にたくさん生える 1 年草のタテです。畑のまわりや休耕田などの農地周辺で特に多く見られる傾向があります。また同じ仲間で見え目がそっくりなオオイヌタテやサナエタテと、よくいっしょに生えています。
- ☆ タテの中では開花が早いほうで、4～5月ごろから花の穂を出すものもあります。名前の由来は春から咲くことからきています。花びらは濃いピンクですが、開花時のみ白色になります。そのため穂は紅白入り混じった感じに見えます。
- ☆ タテの仲間の重要な識別点のひとつとして、托葉鞘が挙げられます。ハルタテの場合、托葉鞘の上の縁に毛が生え、面の部分にも毛があるのが普通です。よく似たオオイヌタテやサナエタテの托葉鞘には毛はありません。

春と秋とで姿がちがう

ハルタテはその名のとおり、早いものは春～初夏に花の穂を出しはじめます。この時期のハルタテはせいぜい草丈 30cm 程度。花の穂はほぼ直立し、あまり垂れ下がりません。一方で、秋にも出現します。秋のものは総じて大型で 50cm 以上になることも珍しくありません。また花の穂も長く、垂れる傾向があります。そのことから秋の個体をオオハルタテと呼んで区別することもあります。



わびちゃんねる 千葉県野田市の植物を動画で紹介!

<https://www.youtube.com/channel/UCJvrXBjegnWATWd-UZsNzCA>

